

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。  
 タブレットやプログラミングなどのICTを活用した授業、英語モジュール学習など新たな学習形態が入り、先生方も大変だとは思いますが、次世代を担う子どもたちのために、教材の開発・工夫、研修会の参加など、ぜひとも授業力を高めてほしい。  
 心豊かな子どもたちの育成のために、基本的な生活習慣・学習習慣を身につけさせるとともに、働き方改革も参考にしながら、子どもたちと関わる時間を増やしてほしい。

2 年度目標ごとの評価

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現

学期に1度いじめのアンケートを実施し、一人ひとりから聞き取りをして解消に向けて取り組むには先生方がとても大変だと思う。いじめであるか否かの線引きが難しいと思う。  
 新たに不登校になる児童はいないが、不登校の児童が解消されたわけではない。今後、地域としても協力して子どもたちを見守り、何か情報があれば共有していきたい。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

施策2 道徳心・社会性の育成

自己肯定感を育てるには日常的に、褒めたり認めたりする継続した取組が必要である。大事なものは豊かな人に育ってほしい。何とか子どもたちに関わる時間を増やしてほしいと思います。子どもも大事だが、親の教育も必要なのではないかと感じる。どこかが親の教育をするような取組があってもいいのでは思う。

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援

東淀川図書館からの貸出、ボランティアのみなさんによる朝の読み聞かせや休み時間の図書館開放の実施などで、読書に親しめる機会は増えていると思う。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組

小学校学力経年調査における標準化得点を前年度より向上させることはできなかった。（4年生の国語・理科は向上した。）子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組として、基礎的・基本的な学習内容の確実な定着とともに、活用力の向上を目指し、個別指導やグループ指導、反復学習など引き続き行ってほしいと思う。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

施策6 国際社会において生き抜く力の育成

「ICTを活用した学習はわかりやすい」の項目において、肯定的に答える児童の割合は95%で、目標（85%）を大きく上回った。ICTの効果的な活用方法について指導方法の研究を行い、学校情報化優良校に選ばれたことは素晴らしい。大変喜ばしいことです。また、外国語活動においても1年生からネイティブの先生に教えてもらうなど積極的に取り組み、効果を上げているのが素晴らしいと思う。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

施策7 健康や体力を保持増進力の育成

今年度の運動会も素晴らしかった。春に実施することは学校協議会でも承認し、全保護者対象にアンケートをとってよかった。来年度の予定も早くから知りたい保護者もたくさんおられるのでできるだけ早く学校行事の日程なども知らせてほしい。

3 今後の学校運営についての意見

日々、大小様々な課題も生じていると思うが、おおむね学校は安定し、子どもたちも楽しい学校生活を送っている。今後も、開かれた学校運営に努め、保護者や地域と密に連携して、子どもたちの健全育成に努めてほしい。地域も全面的に協力していく。